

フレッシュマンコーナー

新たなスタートラインに立って

山口市医師会 まかたこどもアレルギークリニック

真方 浩行

6月1日、山口市赤妻町に「まかたこどもアレルギークリニック」を開院させていただきました真方浩行と申します。開業の準備期間中は大量の事務仕事に忙殺され、開院から約4か月、勤務医時代とは違った緊張感で日々の診療をなんとかこなしてきました。その中で、これまでに世話になった多くの先生方からいただいた励ましのお言葉やお祝いが心の支えになりました。ありがとうございました。

簡単に自己紹介いたします。宇部市出身、宇部高校卒、平成13年に山口大学を卒業しました。当時は臨床研修の義務化前でしたが、同級生4人と山口大学医学部附属病院でスーパーローテーション研修をしました。2年間で内科、放射線科、麻酔科、小児科の各科を研修し魅力あるメンターに出会い、多様な経験をしたことは私の医師として

の基盤となっていると思います。研修する中で、患者さんに一番近いところで働きたい、子どもたちのために仕事をしたいという気持ちが強くなり、研修修了後、山口大学小児科に入局、大学病院、鼓ヶ浦こども医療福祉センター、同愛記念病院(東京都)、山口労災病院、山口県立総合医療センター、萩市民病院で経験を積ませていただきました。

一般小児科医として小児科全般の診療をしていますが、特に小児アレルギー疾患の診療に力を入れています。少しでもアレルギー疾患で悩んでいる子どもや保護者の方々の力になれるよう、エビデンスに基づいた医療を、子どもの目線でもとらえることを大切にしながら診療をしていきたいと思っています。

近年、乳幼児のアレルギー疾患予防のための様々な知見が明らかになってきていますが、1歳



クリニック外観

ぐらいまでのお子さんのケアが鍵をにぎっているようです。湿疹をコントロールして経皮的なアレルギー感受性を防ぎ、適切な時期にいろいろな食物を摂取して経口免疫寛容を誘導していくことが重要です。新しい知見に基づいたアレルギー疾患予防のための診療を、より多くのお子さんにプライマリケアの場で実践していきたいという思いと、地域に根ざして一人ひとりのお子さんと5年10年と関係を築いていき、その成長を見届けたいという思いから開業を志しました。

開業後は、勤務医の時のように広い病院内を慌ただしく動き回ることもなくなり、診療時間前後もどんどんたまっていく事務仕事を片付けるため、これまで以上に運動不足になってしまいました。学生時代は水泳部に所属していましたので、近所のスポーツクラブに入会し、夜や休日に時間を見つけてプールでのんびりと泳いでいます。

水泳以外に趣味といえるようなものはあまり思いつかず、月並みではありますが旅行してのんびりと街歩きをし、美味しいものを食べるのが好きです。旅先で温泉につかるのも楽しみの一つで、学生時代は刺激を求めて全国各地の温泉をめぐり、pH1.2の強酸性温泉に浸かったり、クマに襲われるのを警戒しながら道なき道をすすんで温泉に浸かったりしていました。家族で落ち着いた温



感染患者用個室

泉旅館に宿泊してゆっくり過ごすのも楽しいですが、地元の人が毎日通っているような公衆浴場に一人でおじゃまさせてもらうのが一番落ち着くようです。クリニック近くの湯田温泉は山陽路随一の温泉と言われるだけあって、そのなめらかな泉質は毎日のように入っても飽きることがなく、一日の終わりに浴場に浸かると、慣れない仕事で疲れた体が癒されていきます。

小児科医になってしばらくは、興味の大半を小児アレルギー診療に注いでいましたが、最近は同じぐらい小児の成長発達を丁寧に診療していくことに喜びを見出しています。個人的な考えですが、様々な情報に容易にアクセスすることができるこの時代は、子育ての悩みを大きくしている側面もあると思います。また、社会も多様な子どもたちをそのまま受け入れることが難しくなっているように感じています。保護者の負担を少しでも和らげるような診療をしたい、子どもたちが自分らしく過ごしていけるように、私にできることをしていきたいと思っています。まだまだ修行中の身ですし、ひとりよがりの診療にならないように気を付けていきたいとも思っています。医師会の先生方には今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



非感染患者（アレルギー疾患定期通院、育児相談、予防接種など）待合